

# 花はやさしさ、花は安らぎ 買われる方、贈られる方の、 笑顔を思いながら…

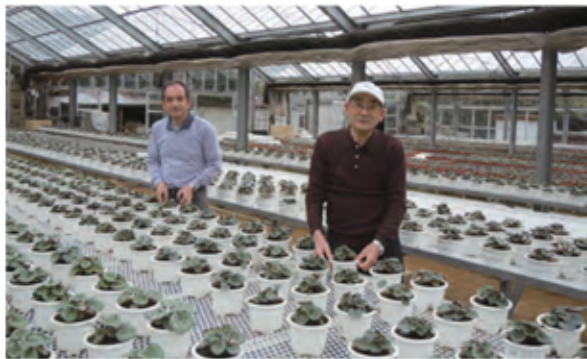
馬込シクラメン園(大田区中馬込、波田野章園長、03・3771・5901)は、国道一号線、馬込橋交差点より徒歩5分程に位置するシクラメン農家である。シクラメンの原産地はギリシャなどの地中海沿岸地方で、日本には明治時代に伝わり、一般に普及したのは戦後の昭和30年頃からだと言われている。波田野園長が、園芸高校在学中にシクラメンに魅せられ、昭和28年に岐阜県のシクラメン農家から種を譲り受けて栽培を始め、約60年の実績をもつ。

シクラメンは栽培期間が長く病気に弱いので、育てるのが難しいとされているが、独学で病気に強い品質のシクラメンの栽培に成功。高品質の秘訣は、「土の配分」と夏季に「涼しい場所に移動させる」ことで、つぼみが多く、花が長持ちするシクラメンが育つ。現在は息子さんとともに精を出している。

同園のシクラメンは9月に種を蒔き、翌年6月頃まで馬込の温



11月には見事なシクラメンが咲きほころ



波田野園長と息子さんで手塩にかけてシクラメンを育てる

室で苗を育てる。暑さに弱いので、7月〜9月の暑い時期は、茨城県筑西市へ移動し、10月には再び馬込へ戻す。10月下旬には咲き始め、見ごろを迎えるのは11月下旬になる。約13カ月間かけて大切に育て、その間の鉢の植え替えは4回にも及び、丹精込めて育てた結果、見事なシクラメンへと成長する。

同園では毎年25品種、約8000鉢を栽培しており、品評会では多くの賞を受賞しており、メディアからも注目の的。シクラメンの販売は大半が農園での直売であり、観賞用・贈答用として固定客が多数購入していくとのこと。シクラメンは5月頃まで花を楽しめるが、上手く育てれば翌年も球根から芽を出し、綺麗な花を咲かすことができ、上手な方だと5年は咲かせることができそう。皆さんもシクラメンを見ながら、心温まる安らぎを味わってみてはいかが？

馬込シクラメン園